

私たちは
GREEN THINKING!
を応援しています。

▲アーバン・スタッフ



地球温暖化の進行で異常気象の発生や海面上昇の進行が起きるだけでなく、災害の発生や経済、健康への影響が問題になっています。長年地球環境問題に取り組むNPO法人「エコロジーオンライン」(佐野市)の上岡裕理事長に話を聞きました。

PROFILE

かみおか・ゆたか 1960年佐野市生まれ。国際基督教大学卒。会社員、米国在住を経て2000年NPO法人エコロジーオンライン設立。17年度新エネ大賞新エネルギー財団会長賞、18年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰。

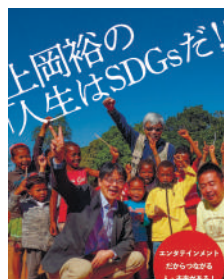
25年間の活動を振り返りながら未来▶を語る上岡理事長



わたしたちの住む栃木県は、水や地熱資源が豊富で太陽光が降り注ぎます。これら再生可能エネルギーから電力をつくることができます。また樹木も豊富です。これは東京などの都市にはないので、栃木県の大きなポテンシャルだと考えます。栃木県で再生可能エネルギーを使った企業活動、市民生活ができるようになるといいですね。

二酸化炭素など温室効果ガスの排出量から植林や森林管理などによる吸収量を差し引いて、合計を実質的にゼロにするカーボンニュートラル(CN)に向けて大人ができる取り組みの例を挙げると、電気あんかを湯たんぽに換えるなどの節電、住宅に断熱材を使う、自身の仕事の中で環境に配慮したモノややり方を選ぶ、二酸化炭素を吸収する樹木の多い街づくりを進めるなどです。普段の生活を続けながらもCNを目指せると思います。

■再エネ豊富な栃木県



▲著書『上岡裕の「人生はSDGsだ!」エンタテインメントだからつながる人・未来がある!』

GREEN THINKING!

脱炭素社会を目指すカーボンニュートラルに向けて



volume

02

地球環境問題

佐野から発信

地球環境問題に取り組むNPO法人エコロジーオンラインは2000年に田中正造ゆかりの佐野市で設立し今年25周年を迎えます。レコード会社に勤めていた1980年代後半、ミュージシャンの東南アジアライブに同行し大気汚染や深刻な交通渋滞、森林破壊を目のあたりにし衝撃を受けました。まもなく湾岸戦争が始まり地球はどうなるのか不安が募り、91年に環境問題を学ぼうと決意し渡米しました。

■危惧したことが現実

アメリカでは、日本の週刊誌などに環境問題に関する記事を发表する傍らアーリーアダプター(新しい商品やサービスを早い段階で受け入れる人)が使っていたインターネットに興味を持ちました。こうして92年に帰国してからはインターネットを通じて佐野市から情報を発信し、アーリーアダプターで環境問題に関心を持つミュージシャンの故坂本龍一さんらとも交流するようになりました。

環境問題は「どうせそんなことできないよ」と冷やかな視線が注がれることも多かったのですが、環境問題に関心を持ち動き始める若い人が増えて、解決に向けて世界に発信したり起業したりしています。お互いをインスパイアし合って、課題解決が進む「面白い時代」になるのではないかと期待しています。

なっていました。

夏は猛暑や豪雨、冬は豪雪となり、農産物や人間の健康にも影響が出ています。こうした状況を受けて、本当は良くない結果かもしれないですが、人々が環境問題について「自分の問題」として関心を寄せるようになりました。よりリアルなものと感じることで、社会や人々の意識が早く変わる可能性があると思います。

▲著書『上岡裕の「人生はSDGsだ!」エンタテインメントだからつながる人・未来がある!』